

第2回PTA部会 議事録

(1) 日 時：令和6年12月4日（水）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2) 参加者：委員（8名：2名欠席）、事務局6名＋3名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 資料説明及び意見交換

- ・これまでの経緯について
- ・スクールバスについて
- ・PTA組織について
- ・同窓会組織について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

部会長 ・レジュメに沿って説明を進めていきたい。今話させていただいたように、第1回目は6月6日ということで、半年前の開催ということもあり、もう一度第1回目のPTA部会を振り返るということを含めて第1回目からの経緯について再度事務局の方からの説明をお願いしたい。

事務局 ・第1回目からの経緯を説明

① 第1回PTA部会

- ・対象となる中高生全員が乗車するバスを整備する案と対象となる中学生の90%及び対象高校生の40%が乗車するバスを整備する案の2案を提案
- ・現在の中高生へのアンケート結果を提示
- ・結論は出ず、関係機関等に聞きながら検討

② 関係機関との検討

- ・公共交通機関担当の市部局、運行を行っている市内のバス事業者、運輸支局にも相談し、検討
- ・運輸支局の考え、デマンドバスや福祉バスなどに対する市の考え、バス、タクシーを含め運転手をかかえている事業者の考えを検討

③ 積み上げてきた案の提示

- ・第2回PTA部会で提示

④ 今後

- ・今年度中にはスクールバスのルートをある程度決定
- ・車両の大きさや運行方法、運行時間、費用等細かな所でもできれば検討

部会長 ・今の経緯について疑問点やさらに聞きたいことなどはあるか。よろしいか。では本日提案される案の時に聞きたいことがあればお願いしたい。それは検討してきたスクールバス（案）について説明をお願いしたい。

（スクールバスについて（案））

事務局 資料1：スクールバスについて（案）

資料2：スクールバス路線図（案）

参考資料：スクールバス路線図（詳細案一部）

を説明

① 基本的な考え（上の四角の中）は継続

② 対象となる中学生が全員乗れるバスを準備

下線の入った中学生の人数がマックスの人数

高校生は60%が進学すると想定した人数

	右側の中、高の人数は中学生が 80%、高校生が 30%乗車した場合の人数 ③積雪時や道路状況を考え 10 ルートからさらに 12 ルートまで増便 ④バス定員の余剰がある場合、また中学生の希望者が 100%でない場合、高校生や一般の方も乗車可能 ⑤朝は 1 便、夕は 2 便を想定 ⑥資料 2 で路線ごとにルートを説明 ⑦参考資料で北郷線、平泉寺線の詳細ルートを説明
部会長	・前回と今回の違いを整理すると 10 ルートが 12 ルートになっている。追加は市街地循環線 1 と 2 になる。これによって平泉寺方面で拾っていた本町や立川などが市街地循環線に組み込まれている。平泉寺からの時間は短くなっているということでしょうか。
事務局	・街中に入ったところで乗れなくなるということを防ぎたいのと、実際に運行業者と話していると、平泉寺はやっぱり 4WD の車両のほうが良いという意見もある。今実際 4WD のバスは 1 種類しかない。そこをどうカバーしていくかということを考えたときに、街中を別便でカバーしようという案に至り、2 路線増やしている。
部会長	・平泉寺線だと途中小学生が乗るという話もあった。小学校を通る線は乗ってくるのか。
事務局	・平泉寺線と遅羽線は小学生が利用している。例えば 5 人乗ったとしても 5 人が小学校で降りるので影響はないかと思う。
部会長	・小学校の始業時刻にも問題がないか。
事務局	・そこは調整が必要になる。遅羽線は今までと同様に先に小学生を降ろすルートなのでかわらない。平泉寺線はどうあわせるかになる。
部会長	・今回詳細な資料まで準備したが気になることや質問はあるか。
委員 1	・前回だと 7 時 10 分とか 7 時過ぎに出ていたが今回は市街地循環線をいれることで平泉寺線だと遅く出ても間に合うのでいいのかと思う。他の地域もそのようになるのではないかな。路線が増えて予算のこともあるが大きく問題がなければいい。
事務局	・前回も指摘があったが子ども達のこともあるが全体の予算のバランスも考えるということだった。一般の人乗るという中で病院に行く方が一定数いるのでその人たちの利便性も考えて市街地循環線を組み込んだ。
部会長	・参考資料の平泉寺線と北郷線については詳細でデータもあるので後ほどグループ協議を行いたい。他の路線についても今後提示があると思うが今回は一番遠いところで吟味いただき問題がなければ他の線にも適応していく。気象や道路状況で疑問が出てくるかもしれないので後ほどお願いしたい。バスの台数や予算の問題を含めて質問があればどうぞ。
委員 2	・PTA の方の意見になる。無料でなくてもいいのではないかな。たとえば 1.5km と 1.4km の子がいてバスと徒歩になった場合、100 円負担しているからバスに乗れるんだといえる。100 円だが集まるとバスがもう一便増えるかもしれない。無料はありがたいが自分が学生の時に朝は無料だが帰りはお金がかかった。100 円でも払ってはどうかという意見が出た。
事務局	・なかなかありがたい意見だと思う。現在のバスは一回の乗車で長くて 200 円、短くて 100 円いただいている。収支はバスを年間動かす費用の 1/10 も入ってこない。野向は平成の初めごろ、バスに乗らないのだから回数券を何千円か買ってバスの存続をしていた。しかし民間のバスが撤退し市のコミュニティ

	バスになった。収支は厳しい。市民サービスで無料にすることでお金のやり取りをしなくてよくなり、運転手の手間がなくなる。高齢者の方も乗られる。その時間を省くことで時間短縮になっている。いい意味でご理解いただきたい。
委員 3	・個人的には無料でいいがパスを発行して降車時に見せる。市民には回数券を配る。機械でカウントできるといいが費用がかかる。毎日乗っていれば顔パス。
事務局	・子ども達も公共交通に乗る機会がない。大学に行ったときに初めて乗ることになるかもしれない。練習ということで例えば学生証を見せるとかこちらで相談させていただきたい。
委員 4	・市民以外は有料なら市民はカードがあってもいい。
委員 5	・学生は無料で一般は有料か。
事務局	・決めてはいないが案としては時間短縮、一般の方がいつも乗っていた時刻とは変わるかもしれないということを加味し市民サービスとして朝と夕の便は全員無料を考えている。
委員 6	・受け取り方が違っていた。
委員 7	・全員パスを持っていればその便には乗れる。
委員 8	・インバウンドでもさすがに外国の方は乗らないだろう。
事務局	・日中のデマンドは有料を考えている。 ・令和 9 年 4 月の時に勝山市の公共交通は朝、夕は大きいバスで大量輸送、日中は小さい車両でニーズにこたえてデマンドにするという構想で考えている。朝夕と日中は動きが違うことを覚えていただければと思う。
部会長	・南部中学校ではバス通学の生徒はいるのか。
委員 9	・ほとんどいない。平泉寺で少しいるときもある。
委員 10	・保護者の送迎が主流になった。
委員 11	・40 人を超えるバスは大型でどんなバスか。そんなバスが毎日動くのか。
事務局	・一番大きいバスで 44 人乗りで長さが 12m になる。平泉寺などは 4 WD で 28 人乗りでマイクロバスより少し長い車両が運行する予定。
委員 12	・今のところ全員着席シートか。
事務局	・全員が着席のシートで考えている。
委員 13	・立っていてもいいのではないか。
委員 14	・安全上は難しい。
部会長	・子ども達の安全安心を考える。後はどうか。いろいろ出てくるかもしれないが 12 ルート案がベースになる。1.5km 未満の生徒の扱いはどうするのか、学校で決めて徒歩とするのか。目の前にバス停があっても 1.5km ないから乗れない。
委員 15	・空いていれば乗ればいいのかではないか。
部会長	・ジレンマかと思う。本当に乗れる範囲の生徒が乗れるのか。
事務局	・無料は大きなファクターになるが、30 年前は猪野口の子ども達は京福バスに乗って南小まで来ていた。学校がルールを決めてその地区の子しか乗れなかった。ルールとして決めることになるかと思う。
部会長	・バス停から 1.5km が直近にはならない。バス停まで歩いて戻って乗る生徒もいる。バスに乗るルールが難しい。
委員 16	・バス通学生かそうでないかは事前に聞くのか。今日は雨が降ったから乗るというものではないのだろう。現状は小学校を中心によくあるのが「子どもに

	歩いて帰るように言ったが迎えに行けるから待っているように伝えておいて。」と電話がある。授業中に電話があると子どもにどう連絡するのか困る。そういうことが頻繁に起きたらパンクしてしまう。もし決めるのであれば1.45kmの子はいいのではないかな。決め決め制ではないと思う。
事務局	・運用をどうするのかは考えていかないといけない。大野は登録制で年度の初めに「私はバスに乗ります。」と申請書を出す。送迎の人は出さない。人数は確定する。勝山はそれをするかどうか。基本的な考えが保護者の送迎に頼らないと謳っている。どのあたりで合致させるのかすり合わせをするべきかと思っている。
委員 17	・遠くても自転車で来るといふ人はそれでいいのか。
事務局	・以前、北郷の坂東だと約10km、あまりにも遠い子を自転車で毎日行かせるのも安全上どうかという話があった。バス通学以外で協議する必要がある。
部会長	・わが子は自転車で通学をさせたが今はヘルメットをかぶらないといけない。女の子はいやがる。話としては出てくる。なければこの後平泉寺線と北郷線に分かれてグループ協議をお願いしたい。 (グループ協議)
部会長	・議論していただいた概要を報告願いたい。まず平泉寺線からお願いする。
委員 18	・運行ルートはこれでいいのではないかな。県道の大きい道を通るのでこれ以上でもこれ以下でもない。停留所と発着時刻だが時間的にはちょうどいい。大矢谷は人口が減ってくるし子どもがいなくなればデマンドに切り替えることもできる。停留所から家までの距離がある子がいるのではないかな。安全面として地域の方で小学生と同様見守りをしていただけるといい。バス停に駐車場があると安全が守られるのではないかなという意見もあった。その他で家の人で送迎できない場合もあるので登録制にせずに人数の把握は住所でわかるから自由に乗れる方がいいという意見があった。特別な行事があったときに学校がバスに合わせてカリキュラムを設定しないといけない、土日の年間行事があったときに事前に運行できるような対応をしてもらえるといいという意見が出た。
部会長	・今の報告で事務局はどうか。
事務局	・大野市の中学校がこの4月から統合されてスクールバスを利用している。遠いところだと和泉から陽明中に来ている。先進地事例としてお聞きしてこようと思っている。また紹介できればと思う。
部会長	・見守りはどのようにしているのか。
委員 19	・岩ヶ野の子たちはバス通学をしている。バス停から小学校まで先生がついて行っている。平泉寺は祖父母がついて行って登校している。下校は熊が出たときは全員児童館にいて児童館に迎えに行く。今は自由に下校している。
部会長	・バス停から遠い子はどのくらいいるのか。
委員 20	・大矢谷や岩ヶ野の子で遠い子はいるかもしれない。
部会長	・中学生は送ってくるという状況か。
委員 21	・親の送迎になっている。人によって状況がいろいろ違う。
部会長	・平泉寺の状況だったが北郷方面ではこれについて気が付いたことがあったらどうぞ。人数等はどうか。
委員 22	・平泉寺の平泉寺が一番多い。このような人数かと思う。
部会長	・平泉寺線はルートや停留所はこれでほばいいのではないかなということによろしいか。バス停から遠い子については検討という形でお願いしたい。続いて

	北郷線について報告をお願いする。
委員 23	・ 4 点ある。まず運行ルートについては総勢 44 人で大型バスになるだろうが道路幅の狭いところは大丈夫か、特に冬は除雪が行き届いているのか。問題があれば検討になる。停留所は一般の方も遠いが病院行きのバスに乗っている実情がある。自分の家の前にバス停があったのにスクールバスによって停まらなくなったりしているかもしれないが理解していただく。将来的に小学校の適正配置が行われた場合、野向だったら村岡とか荒土とか自分の学校区と違った場合、そういうルートも検討していく必要がある。
部会長	・ ルートは年ごとの生徒の人数によって変更していくこともある。将来的には別のルートも検討することにもなるかもしれないが新中学校のルートとして考えたい。一度北部地区で話し合っているので道路は問題がないのかもしれない。乗車人数が多いので実際に運行するとどうなのかということもあるが今出た意見を検討していただきたい。他に何かあればお願いしたい。スクールバスはかなり重要でしっかりと決めていきたい。バスの台数や人数などでできれば今年度中にある程度決めていきたい。今日の話を持ち帰っていただいて検討して次回に持ち寄りたい。よろしく願います。それでは P T A 組織と同窓会組織について会長を中心に話していただいた報告を事務局からお願いしたい。
	(P T A 組織について)
事務局	資料 3. P T A 部会に係る打合せ会の概要を説明 ①繰越金について (R 8 末でどうするのか) ②特別会計の扱い (R 8 末でどうするのか) ・ 一般会計については新中学校へ統合される R 9 年度の新 2, 3 年生の生徒数分だけ各中学校から繰り越す。 ・ 一人分は 3 中学校の一番低い額の学校に統一する。残りは閉校式関係やイベントなどその年度で使い切る。 ・ 残金の多い学校は R 7 年度、R 8 年度で計画的に減らしていく。 ③ R 7, R 8 の役員の決め方について ・ 新中学校の委員数を今年度中に決められれば、R 7 年度入学式時に 3 年間分の委員が決められる。 ・ 会長・副会長だけは R 8 年度の副会長から各中学校 1 名ずつ選出してその中で R 9 年度の会長と副会長を決める。(ただし会長になる校区は女性の副会長も選出する) ・ 規約を決めなくてはいけないが、3 中の共通事項として最低限の内容のみ決めるとどうか。 ④その他 ・ その他として P T A は任意団体なので、入らないという保護者がいたらどうするか。 ・ 県 P T A からの退会までは考えられない。 ・ 市 P T A 連合会にも現在の話し合っている進捗状況を知らせるとよい。
委員 1	・ 繰越金については各中学校で差があるが、先日役員会があつて残りにくくなっていく方向だとわかった。生徒が県大会に行く参加費が上がっていてその金額がかなり大きくなっている。部活への補助を手厚くしないといけない。どの中学校も同じだと思う。令和 6、7、8 年度は予想した金額より残らない可能性がある。

部会長	この件についてはP T A部会で意見を出し合って進めるものではない。3中学校の合意のもとに進めていかざるをえない。まだ時間があるので3中学校で議論していただければと思う。自分たちのころの勝山高校のP T Aの考え方は勝山中学校の考え方と同じになる。南部、中部、北部の持ち回りになっている。なかなか決まらない。北部が人数がすくないがその中でも荒土、鹿谷、北郷の小学校区で決めている。最終総会まで決まらない事態もあった。今の勝高はどうか。
委員2	今もそうである。
部会長	中学校区に依存しないほうがいいのではないか。来年会長になる学校の副会長は次年度持ち上がって会長になった。全員新しいメンバーになるとわからなくなる。P T A会員の人数も減る中で踏襲していくのは無理ではないか。ある程度2年生なら2年生5クラスの中で副会長を決めて誰か一人が3年生で会長になる。そのルールを変えていかないと中学校でやったことが勝高でも同じようにやって苦しくなる。新中学校の役員を決める参考にしてほしい。
委員3	市P連の会長を決めるのもシステムで小学校ごとに回っている。
部会長	あの方法も作った。奥越ブロック長や他のこともルール化した。その当時はよかったが今機能しているのかわからない。
委員4	意見としては県Pもそうなので東海北陸も輪番で動いている。県P、市P、単Pも動いている。たぶん一長一短がある。順番が決まっているから何とかして絞り出してやる。逃げないのですぐに決まる。学校が大きくなると知らない人ばかりだから全然決まらない。選挙で決めるとなると上から順番でいかとなる。果たして子ども達のためになるのか。小さい学校でも順番だから奥越ブロック長やってほしいと言われたりするので何とも言えない。クラスで交流ができればいい。一番手取り早いのは事務局がしっかりしていればいい。事務局を12年に1回ずつ回して変わるといくらベテランの人がいてもばたばたする。事務局が変わらないというスタンスにすると回っていく。お金の問題もあるが新中学校に事務局をおいてはどうかとなってくる。正しいかどうかはわからないが考えるチャンスだとは思う。
部会長	今変えないと難しい。勝高は事務局は主事がしていてずっと変わらない。
委員5	単純に会長制をやめればいい。会長を決めるのが大変なだけで役員は集まるので行事ごとに行ける人が行けばいい。みんなが会長だとすればいい。一人会長を選ぶのが無理な世界になっている。
部会長	問題になる部分はあるかもしれない。
委員6	充て職でいろいろ行くから大変になる。分散させる意味ではいい。
委員7	3中でも考えてはいる。
部会長	今回決めることがしばらく続くから考えた方がいい。大変なことだがよろしく願います。それでは同窓会について願います。
(同窓会組織について)	
事務局	資料4. P T A部会に係る同窓会打合せ会の概要を説明 ①現在の同窓会組織の今後 (R 9年度からどうするのか) R 8年度で解散する。 (ただし北部は今年度から同窓会費は徴収しないし、同窓会入会式も行わない。区長を通じて案内を出す。) ②残金の扱い (R 8末での残金をどうするのか)

	・必要経費を除いて新中学校に寄付する。 ・金額にもよるができれば3中同窓会の名で物を寄付し残りは現金で寄付する。 ③その他 ・銅像との記念碑は委任状を書き、市から公報などで一斉にお知らせしていただけるといい。 ・新中学校（勝山中学校）の同窓会組織については、新中学校（勝山中学校）に任せる。
部会長	・何か質問や気づいた点があればお願いしたい。
委員1	・解散すると同窓生としては新中学校同窓会に入るのか。
事務局	・基本的に同窓会の組織自体が卒業生の名簿を持っているわけではない。各学校に名簿があるので新中学校にもこれまでの卒業生の名簿が引き継がれる。南部中、中部中、北部中の卒業生であることはその名簿を見るとわかる。ただ同窓会という組織はない。同窓会として勝高みたいに大同窓会などはしない。会長をずっとされている中学校もある。肩の荷が下ろせるという部分もある。
委員2	・個人情報と言われる前は多分名簿はあったのではないかと。それが言われたからなくなった。
委員3	・南部中は開校10年までは名簿を作っていた。それを区切りにない。個人情報以前になくなった。
委員4	・卒業生を迫りかけるのは大変。
事務局	・新中学校の同窓会組織だが昔だと名簿が必要だったが今はSNSがあるので子ども達が発信して作ることもできる。新しい時代に合った同窓会を作っていくのではないかと考えていた。
委員5	・新しい中学校の同窓会は考えていなかった。
部会長	・高校でも異動データを作るのが大変。実家はわかっているが、現在の所在はなかなか教えてくれない。中学校だとそれ以上にわからない。
委員6	・なかなか難しいものを「さあやれよ」というのはナンセンス。
部会長	・学年でクラスごとの代表を決めてそのクラスを管理するのが一番実務的。全部をおさえるのは大変な作業になる。同窓会を作って何をするかにもよる。北部は同窓会報を出しているのか。
事務局	・2年に1回出している。
部会長	・どこに向けて出しているのか。
事務局	・北部3町だと思う。
部会長	・かなりお金がかかる。つくるだけでも大変になる。
委員7	・誰がつくっているのか。ネタも大変だ。
委員8	・話がかわるが中学校卒業証明書のようなものをもらうときは新中学校に問い合わせればいいのか。
事務局	・新中学校が引き継ぐ。旧勝山中学校は南部中に行けばもらえる。
部会長	・南部中に賞状やトロフィーなどがたくさんあるという話はどうなったのか。
委員9	・あるが廃棄するしかない。すごい価値のあるものなら残すかもしれない。
部会長	・以前あるものの一覧で調べていた。
事務局	・今度はそれをしていけないといけない。
部会長	・PTA組織と同窓会組織についてはこの場では報告という形になる。これが

	ら大変だがよろしくお願ひしたい。これで第2回目のPTA部会を終了させていただきます。他になければ事務局にお返しする。
事務局	・スクールバスについていろいろなご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見をもとに精査して業者や運輸局とも協議をしながら進めていきたいと思う。次回提案したいと思うのでよろしくお願ひしたい。これで第2回PTA部会は終了とさせていただきます。3回目は2月の初旬を予定している。またご連絡させていただきます。
委員 10	・路線を一つずつ考えていくのか。
部会長	・次回は今の話を含めて12路線の細かい提案になる。
委員 11	・いつまでに決めるのか。
事務局	・大方の路線は今年度末には大体決めたい。 ・次回でいただいた意見を加味して提案し2月に承認をいただく形になり2月末か3月の全体会にかけて承認をいただいて議会に報告する。 ・もうしばらく協議いただければと思っている。
部会長	・PTA組織については今年度中に決めるわけではないのだろう。次のPTA会長に引き継いでいかないとせっかく単Pの会長が話し合った情報がいかされなくなる。
事務局	・基本的にPTA組織は市とか学校がつくるようにとした組織ではないのである程度会議の話し合いにはこちらの事務局も関わるが自主的に決めていただかないといけない。市Pとか単Pでも話をして引継ぎをしながら令和9年4月にはスタートできるように作っていただきたい。
部会長	・今の話だと来年度、再来年度に向けてPTA役員をどうするのかは決めていかないといけない。いつまでもそのままというわけにもいかない。
事務局	・では今日はこれで終わりたいと思う。ありがとうございました。

資料1．スクールバスについて（案）

資料2．スクールバス路線図（案）

資料3．PTA部会に係る打合せ会の概要

資料4．PTA部会に係る同窓会打合せ会の概要